

**製品名: FADD ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe01969**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.16mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 28 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Fadd
別名	Mort1/FADD
遺伝子 ID	14082.0
SwissProt ID	Q61160
免疫原	ヒト FADD の合成ペプチド

**背景**

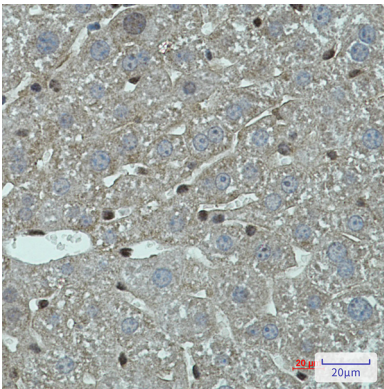
活性化 Fas (CD95) または TNFR-1 受容体にカスパーゼ 8 またはカスパーゼ 10 をリクルートするアポトーシスアダプター分子。結

果として生じる細胞死誘導シグナル伝達複合体 (DISC) と呼ばれる凝集体は、カスパーゼ 8 のタンパク質分解活性化を引き起こす。活性化カスパーゼ 8 は、アポトーシスを媒介するカスパーゼのカスケードを開始させる。インターフェロンを介した抗ウイルス免疫応答に関与し、インターフェロニンシグナル伝達の正の調節に役割を果たす。

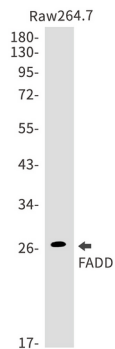
## 研究分野

細胞生物学

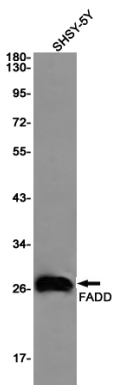
## 画像データ



FADD 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



FADD 抗体を使用した Raw264.7 溶解物中の FADD のウェスタンブロット分析。



FADD 抗体を用いた SH-SY5Y ライセート中の FADD のウェスタンブロット分析